

「京都府食育推進計画（中間案）」に係る市町村説明会における意見の要旨

	項目	意見の要旨	計画（案）への反映
1	現状と課題	食の安心・安全についても明記した方がよい。	計画（案）に記載
2	京都の特性	京都府の特性が計画後半へつながっていない。	計画（案）に記載 一部は、具体的な取組の中で検討
		京都市内のイメージが強い。北から南までの多様な特性を意識することが必要。	計画（案）に記載
3	基本理念・取組の方向・関係者の役割	人材育成とあるが、誰が誰を育成するのか、わかりにくい。	計画（案）に記載
		食育は家庭（親）が第一であるので、家庭の役割を強調すべき。	計画（案）に記載
		生産者と消費者の関係で、地元の商店との関係についても取組の啓発を進めていただきたいと考えており、計画の中に見えてこない。	計画（案）に記載していないが、具体的な取組の中で検討
		計画の目指しているところをポイントを絞り込んで、明確にしてほしい。まずはできるところを計画に強めに出してほしい。	計画（案）に記載
4	ライフステージごとの取組	ライフステージ「乳幼児期」と「少年期」の「健全な生活習慣の基礎づくり」という表現を「乳幼児期」と「少年期」で変えた方がよい。 例） 乳幼児期 生涯にわたる人間形成の基礎を培う 少年期 健全な生活習慣の基礎作り	計画（案）に記載
		ライフステージ壮年期以降について、生活習慣病の予防や対策ではなく、積極的・前向きな表現にした方がよいのでは。 例） 壮年前期 健全な生活習慣の維持 壮年後期 生活習慣の見直し	計画（案）に記載
5	目標	数値目標「食に関して、積極的に～子ども数」の意図や内容、数値目標1,000人がわかりにくい。	計画（案）に記載
6	その他	中間案（P.12）の関連計画・プランの説明があった方がよい。	計画（案）に記載